

緑地整備と体制のあり方に関するシンポジウム

ー 1964 五輪・駒沢オリンピック公園と 2020 五輪・新国立競技場緑地の違いー

相変わらず公園内にコンクリート建造物が計画され、樹木の伐採が懸念されている。温暖化、ヒートアイランド現象が激化する中で、都心ではさらに建物の高層化が進みつつあり、都心の防災・美化を図る上で高木による樹冠被覆がますます重要性を増している。そこで、緑地整備体制の観点から 1964 五輪の駒沢オリンピック公園と 2020 五輪の新国立競技場緑地の違いを探り、今後のあり方を考える。

日時 2023 年 11 月 29 日 (水)

13:00 ~ 17:00 (12:00 受付開始)

場所 滝野川会館 (東京都北区)

大ホール

参加費 無料 (要申込、先着 500 名)

*先着 150 名様には今期刊行の報告書「都市における防災・美化の変遷に関する調査・研究 II」を差し上げます。

*YouTube 配信を予定しています。会場参加できない方には後日、YouTube サイトをお知らせしますので、参加申込用紙にメールアドレスをご記入下さい。



シンポジウムの構成

13:00 ~ 挨拶

西口敏之 ((公財) 都市防災美化協会理事長)

「シンポジウムの趣旨」

藤井英二郎 (千葉大学名誉教授)

「東京都における駒沢オリンピック公園の計画・

設計・施工管理体制とその後の推移」

中島宏 (元東京都公園緑地部長、都市防災美化協会前理事長)

「駒沢オリンピック公園の施工とその後の施工界の推移」

松田武彦 (東光園緑化 (株) 元常務取締役、全国一級造園施工管理技士の会 第 2 代会長)

「新国立競技場緑地の実態と今後の緑地整備・体制のあり方」

藤井英二郎 (千葉大学名誉教授)

休憩 15:45 ~ 16:00

討論 コーディネーター 山下得男 ((株) 富士植木取締役、(一社) 街路樹診断協会副会長)

お問い合わせ先 和田幸子 ((公財) 都市防災美化協会)

TEL/FAX:03-5202-2011 Mail: bo-bikajimu@cosmos.ocn.ne.jp

主催 公益財団法人都市防災美化協会

後援 (予定) (一財) 日本造園修景協会、(一社) 埼玉県造園業協会、
(一社) 日本造園建設業協会、(一社) 東京都造園緑化業協会、(公社) 日本造園学会、
(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会、(公財) 東京都慰霊協会、
全国一級造園施工管理技士の会、(公財) 都市緑化機構、(一社) 街路樹診断協会、
(一社) 日本樹木医会 (一社) 日本公園施設業協会